

工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 I 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡西区 的場町

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

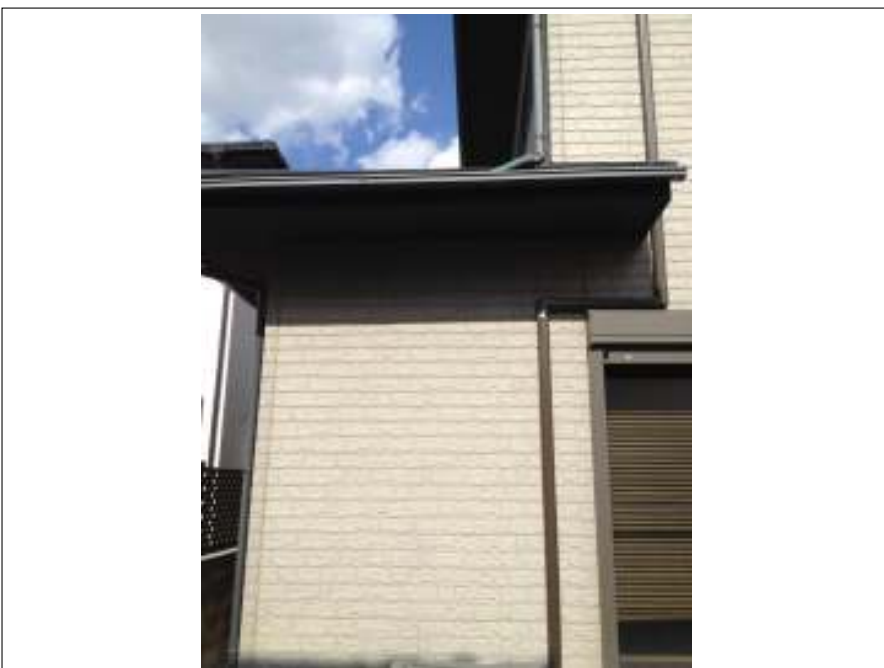
工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は[°]ル[°]繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合、処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



屋根

同上



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



軒天

同上



破風

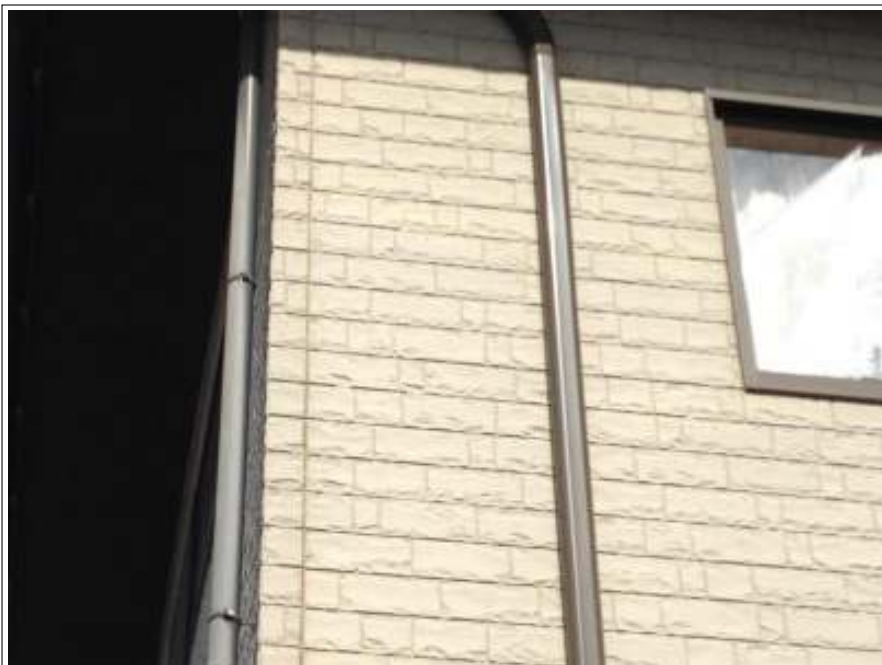
経年劣化しています。

この部分はシーリング等の下地補修をおこない、塗装をしていきます。



鼻かくし

同上



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



換気フード

鉄・スチール素材になります。
劣化が進むとサビが発生してきますので、ひどくなる前の塗装をお勧めします。



土台水切り

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修を行います。



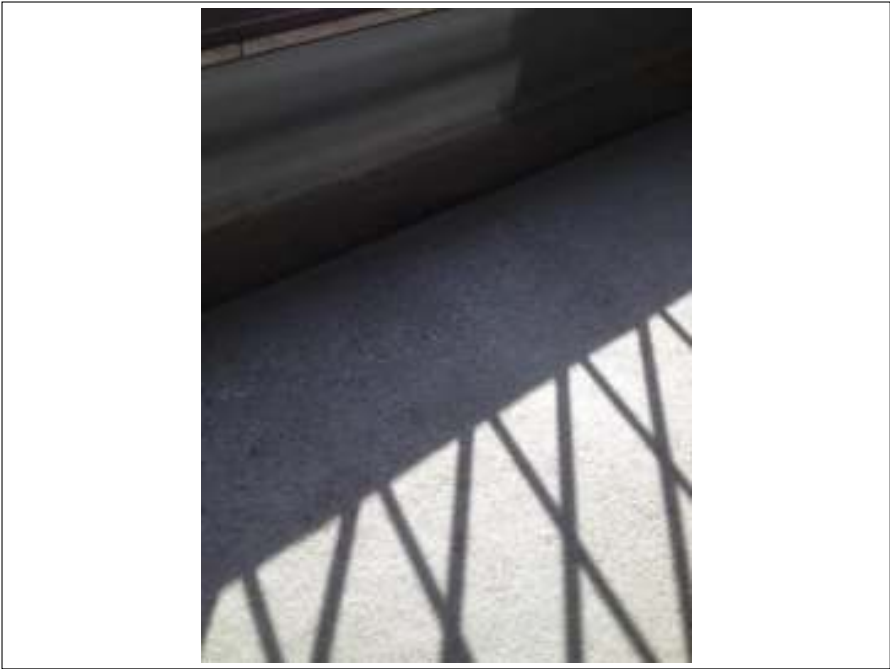
基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



ベランダ

こちらの下は部屋になっているのもあり、劣化する前の塗装をお勧めします。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 クラック部

劣化している部分があります。この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・ボードの痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修ををおこない塗
装をしていきます。



シーリング劣化部

同上



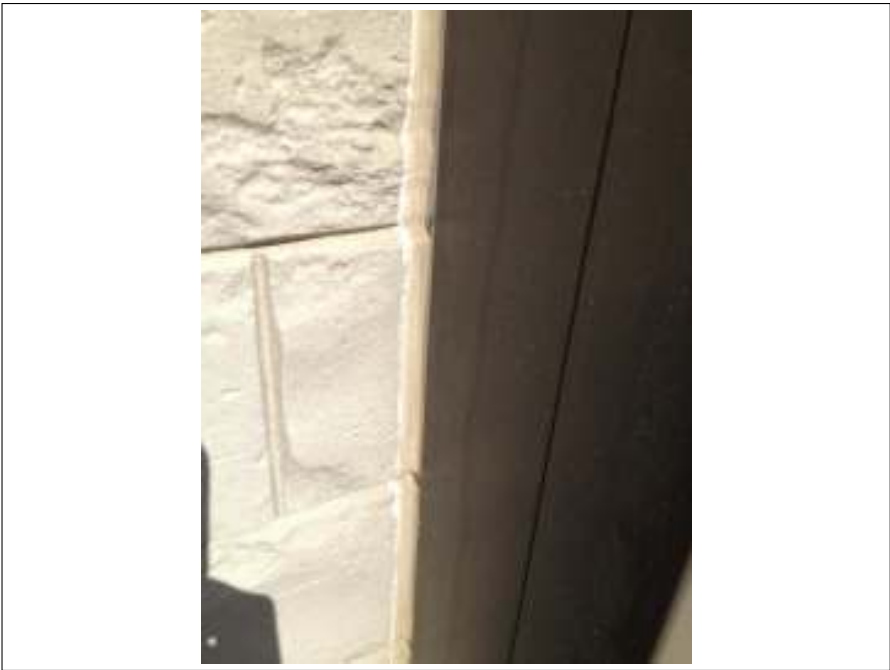
サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも
劣化している部分があります。
サッシ廻りは全面劣化は打ち増しを
おこないます。



サッシ廻りシーリング劣化部

同上



サッシ廻りシーリング劣化部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

Blank lines for additional information or notes.

